

(様式 1 - 3)

福島県（本宮市）帰還・移住等環境整備事業計画 帰還・移住等環境整備事業等個票

令和 4 年 1 月時点

No.	5	事業名	通学路等環境放射線量測定事業	事業番号	(3)-23-5
交付団体	本宮市		事業実施主体(直接/間接)	本宮市(直接)	
総交付対象事業費	(13,398)(千円) 15,631(千円)		全体事業費	(13,398)(千円) 15,631(千円)	
帰還・移住等環境整備に関する目標					
原発事故の長期化に伴い、市民の放射線量への関心は高く、特に子どもや保護者の内部被ばくへの不安は依然として残っているため、市内の通学路や、市内各学校等の教育施設の環境放射線量測定を実施し、結果を伝達する事で、市民（保護者等）の放射線に関する不安の解消を図る。					
事業概要					
手はかりの線量測定器を使用し、車両で巡回しながら市内通学路、及び学校等敷地内の環境放射線量を測定（1週間で延べ約130地点・学校10校）する。計測した学校敷地内の測定データは、各学校が学校便り等を通じて保護者への周知を図る。					
(1) 測定開始時期 令和4年4月から開始					
(2) 測定場所 市内通学路：約130地点 全4コース（1コースあたり26箇所前後の測定箇所を設定） 1日1コース測定 市内小中学校：10校 本宮小学校、本宮まゆみ小学校、五百川小学校、岩根小学校、糠沢小学校 和田小学校、白岩小学校、本宮第一中学校、本宮第二中学校、白沢中学校					
(3) 事業費 放射能検査業務： 2,186千円 線量測定機器校正委託料： 47千円					
【本宮市第2次総合計画】 ●基本目標：いつまでも健康・豊かで活力と賑わいにあふれるまち ●テーマ：暮らしの安心を守る ●取組名：安心確保に向けた放射線リスクの低減と健康管理・理解促進					
当面の事業概要					
<令和4年度> 手はかりの線量測定器を使用し、車両で巡回しながら、市内通学路及び学校等敷地内の環境放射線量を測定する。 令和4年度運営費：2,233千円					

地域の帰還・移住等環境整備との関係

市民（保護者等）が生活環境の放射線量に対して抱える不安を、環境放射線量の測定を継続して行う事で解消し、地域の再生を加速化させる。
--

関連する事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業

事業番号	
-------------	--

事業名	
------------	--

交付団体	
-------------	--

基幹事業との関連性
